

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 1 月 9 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (1/9 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h	18.1 °C	105.1 kPa abs	A系： 0.05 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.07 vol%
2 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.0 m ³ /h	25.7 °C	7.72 kPa g	A系： 0.06 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.04 vol%
3 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.5 m ³ /h	24.9 °C	0.22 kPa g	A系： 0.08 vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.07 vol%

*1：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

【3号機原子炉建屋5階中央部近傍(機器貯蔵プール側)での湯気発生状況】

- ・H26/1/9 7:51 頃 湯気をカメラにて確認。(気象データ [1/9 7:50 時点]: 気温 3.8°C、湿度 94.2%)
※ プラント状況、モニタリングポスト指示値等に異常なし。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (1/9 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1 号機	循環冷却システム	運転中	12.5 °C
2 号機	循環冷却システム	運転中	11.4 °C
3 号機	循環冷却システム	運転中	10.1 °C
4 号機	循環冷却システム	運転中	18.0 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

- ・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。なお、同作業は平成 26 年末頃まで行う予定。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
3 号機	3 号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物 減容処理建屋 [高温焼却炉建屋])	12/17 16:00 ~ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (1/9 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	運転中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 当面は、3 系列のうち 2 系列による運転を実施することで 2 系列運転の稼働率を向上させていくこととし、準備が整い次第、3 系列の同時 運転を実施予定。

- ・ B 系：平成 26 年 1 月下旬頃(予定)に腐食対策有効性確認のため、処理運転を停止予定。
- ・ H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

< 5. その他 >

- ・ H26/1/6 10:21 5号機タービン建屋1階をパトロールしていた当社社員が、発電機の冷却に使用する固定子冷却水系において、冷却水配管に取りつけられている安全弁の配管より水が漏えいしていることを発見。同時刻に至近の弁を閉めることで、漏えいが止まったことを確認。漏えい範囲は以下のとおり。
 - 堰内：約2m×約4m、深さ約10cmで漏えい量は約800リットル
 - 堰外：約5m×約5m、深さ約5mmで漏えい量は約125リットル固定子冷却水系で使用される水は純水を使用しており、漏えいした水は汚染水ではない。今回の漏えいについての主要要因と応急対策は以下のとおり。
- H26/1/9
- 【主要要因】**
タービン建屋補機冷却系熱交換器（A）の本格点検に必要な洗浄水の確保のため、固定子冷却水系補給水（純水）ラインの入口弁を「全開」とした。その後、5・6号機スイッチギア空調膨張タンク補給のために純水移送ポンプを起動した際に、固定子冷却水系補給水（純水）ラインにも圧力がかかり、当該ラインにある安全弁に設定圧以上の圧力がかかったことから当該安全弁が動作し、水漏れが発生。今回の漏えいは、タービン建屋補機冷却系熱交換器（A系）の本格点検に必要な洗浄水を確保するためのライン構成にあたり、当該安全弁の確認が不足していたために生じた。
- 【応急対策】**
- ・ 固定子冷却水系補給水（純水）ラインの入口弁に、安全弁動作の注意喚起を促す注意札を取り付ける。
 - ・ タービン建屋補機冷却系熱交換器（A）本格点検の洗浄水ラインを、固定子冷却系補給水（純水）ラインから別ラインに変更。
 - ・ 提出されている作業許可書については、安全処置の総点検・類似要因を確認。
- ・ H26/1/9～ 1～4号機取水路開渠内入口におけるシルトフェンス交換実施中。
 - ・ H26/1/9 14:05 3号機原子炉建屋1階北西エリアにおいて、ガレキ撤去作業にて使用している遠隔操作の無人重機〔ASTACO-SoRa（アスタコ・ソラ）〕より作動油が漏えいしていることを協力企業作業員が発見。当該重機を停止したことにより、漏えいは停止。なお、漏えい量は、約10cm×約10cm×約1mmの範囲（2箇所）であり、同日午後2時25分に双葉消防本部へ連絡。

【H4エリアタンク等からの水の漏えい関連】

<トピックス>

- ・ H25/12/10 10:10～ 汚染水拡散の防止策として、H4エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

<タンクエリアパトロール実績（1/8）>

- ・ 高線量当量率箇所（β+γ線（70μm線量当量率））は確認されず。
- ・ 堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・ 目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと（漏えい確認ができない堰内溜まり水内を除く）を確認。
- ・ 汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・ 前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・ 前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・ 1, 2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット（南）地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は1/9 0:00時点で約7,034m³ *集水ピット（南）およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・ 前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

<移送関係>

- ・ 2, 3号機東側に設置したウェルポイント（バキュームによる強制的な排水設備）からの地下水汲み上げおよび2号機タービン建屋への移送を適宜実施中。
- ・ H25/12/11～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔No. 0-3-2でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

- H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- H25/10/3～ 地下貯水槽 No. 1 の汚染範囲調査開始。
- H25/10/23～ 地下貯水槽 No. 6 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/11/15～ 地下貯水槽 No. 5 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/11/19～ 地下貯水槽 No. 1 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/11/28～ 地下貯水槽 No. 3 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/12/7～ 地下貯水槽 No. 2 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/12/16～ 地下貯水槽 No. 7 において浮き上がり対策を実施中。

<地下貯水槽サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以 上